

# とちぎ水土里づくりプランⅢ 平成28年度 取組状況

## 推進施策1

## 地域の営農構想を実現する農業生産基盤の整備

### 【取組内容】

- 計画的な事業推進により、20地区(完了地区4地区含)において128haの水田が整備され、生産性の向上が図られ、担い手への農地集積が進みました。
- H28から3ha規模のスーパー大区画導入実証事業に着手し、区画規模の異なる4つの水田を対象として労働時間や収量等の調査を行いました。また、農業者等を対象とした現地研修会を開催し、大区画化の効果や水田整備の今後の展開方向について広く周知を図りました。
- 漆塚地区(那須町)では、農地集積に向けた取組みにおいて、物納モデル地区として農地中間管理事業と連携を図り、他地区の事業推進を牽引しました。
- 農業水利施設において、ICT整備を進め、1地区において水管理の省力化が図られた。



2.6haのスーパー大区画水田

### 【目標達成状況】

※1 上段は目標値、下段は実績値

目標指標	現状 H26	計画期間※1					年度目標※2 達成状況
		H28	H29	H30	H31	H32	
1) 水田整備面積(ha)(区画30a以上)	55,125	55,301 <b>55,317</b>	55,444	55,608	55,873	56,200	○
2) ほ場の大区画化面積(ha)	1,600	1,646 <b>1,622</b>	1,687	1,734	1,809	1,900	△
3) ほ場整備実施地区における担い手への農地集積面積(ha)	1,197	1,367 <b>1,271</b>	1,475	1,582	1,690	1,800	△
4) 新たに畑地整備を実施した農地面積(ha)	-	21 21	35	45	72	100	○
5) 更なる低コスト化に資する技術工法等の導入地区数(地区)	6	7 7	9	12	13	16	○

※2 ○…おおむね達成 △…達成できない可能性がある ×…達成は困難

### 【今後の取組】

- 地域の営農構想に基づく新規計画及び継続地区の着実な整備推進
- スーパー大区画など省力化技術の導入推進
- 農地中間管理機構と連携した農地集積・集約化の推進
- 露地野菜の生産拡大など、地域ニーズに対応した畑地整備の推進